

【普通科】 3年次 【選択】科目「現代文読解」授業のシラバス

1 概要

教科名	国語	科目名	現代文読解	単位数(コマ数)	2単位(70コマ)
科目の目標	「国語総合」及び2年次「現代文B」(2単位)で学習した内容を踏まえて、近代以降の文学的文章を中心に据え、様々な小説・随想の文章を読解する。その中で社会生活に活きる教養をより深め、考える力を養う。				
教科書(出版社)	現代文読本 小説・随想編①(いいずな書房)	副教材(出版社)	現代文読本 小説・随想編① 15の文章による思考と表現のレッスン(いいずな書房) パスワード級別漢字(浜島書店)		

2 学習の方法

(1) 予習について

まず、文学的文章は何度もくり返し読むことで、文体や表現のリズムを味わうことができます。新しい発見や理解の深まりも得られます。授業で取り扱う作品は事前に三回は読んでおきましょう。次に、語句調べは読解力の向上には欠かせません。文学的文章を読み味わうために、幅広い語彙を身につけ、豊かな表現力を読み味わう基礎力を身につけましょう。よりよく生きるために、様々な人生の場面を、様々な立場から描き出す文学は、思考力の幅をも広げ、自分自身の表現力を高め、現代社会やそこで生きる他者への理解力も身につけることができるでしょう。最後に、毎時間漢字テストがありますので、テスト範囲を予習してください。

(2) 授業について

国語は、みなさんが普段使っている日本語で勉強する教科です。しかし、文学的文章を扱うこの授業では、ときに日頃は見聞きすることのない語彙や表現にも出会います。国語総合で学んだことを活かしながら、より幅広い作品を読み味わいましょう。「作者は何を私たちに訴えているのか。」「何を知らせようとしているのか。」「何を分かってもらおうとしているのか。」などを理解する力、つまり「読解力」をさらに高めることができます。また、グループワークや発表などの活動を通じて、お互いの読解の過程を学び合い、作品の解釈を共有していきます。そこでは、話し合いのスキルや、人の話を聞いてメモを取ったり、要点をまとめたりするスキル、自分の考えを人に伝えるスキルなど、様々なコミュニケーションスキルが身につけられます。積極的に参加してください。

(3) 復習について

週に2時間しかない授業ですので、勉強している内容を忘れないためにも復習はもちろん大切ですが、もっと大切なことは国語の勉強を通して、授業で扱う様々な分野について、興味を引いた分野の文章を読んでみることです。授業を通して、読書の習慣を身につけることが、学力向上の一番の早道だと考えます。また、その日やった授業の流れを教科書やノートまたはプリントを見返しながら、頭の中で思い描いてみることも、知識を整理する上で、大切なことです。知識は整理され、統合する必要があります。以上のことから、勉強で最も大切なことは後始末をしっかりとする、「復習」をすることだと言えます。

〈学習アドバイス〉

文学的文章は、教科書以外でも触れる機会が多いでしょう。国語の力は日常生活で養って行くことが大切だと思います。朝読書、新聞や雑誌の連載作品、原作付きの映画やテレビドラマなどを視聴して比較するのも面白いでしょう。あまり難しく考えずに、様々な小説・随想から「ものの見方・考え方」を知りましょう。その経験を通じて語彙力を高め、表現力を豊かにしていくことで、将来、人生をより深く、多角的に理解する能力が身につきます。また、話し合いや発表の機会が多く、正解のない問題に取り組むことも多いです。日頃から、自分の言葉が相手に伝わっているのか、自分は相手の言葉を理解できているか、意識しましょう。そして、常に新しい、面白い表現を吸収し、より分かりやすい言い方を学んで、使ってみるようにしましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	日本語や言語文化に対する関心高め、国語力の向上を図ることができたか。
② 話す・聞く能力	筋道を立てて話したり、正確に人の話を聞き取ったりすることができたか。
③ 書く能力	目的に応じて、適切に文章を書くことができたか。
④ 読む能力	様々な文章を表現に即して正確に読み取ることができたか。
⑤ 知識・理解	表現と理解に必要な知識を身につけているか。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

観 点	評価材料		漢字テスト	授業ノート・プリント	発問・指名読み	読後感想文	意見発表・スピーチ	グループワーク
	割合	定期考査・確認テスト 実力テスト						
① 関心・意欲・態度	10%		◎	◎	◎	◎	◎	◎
② 話す・聞く能力	10%				◎		◎	◎
③ 書く能力	20%	○				◎		○
④ 読む能力	30%	◎			◎	○		○
⑤ 知識・理解	30%	◎	○		◎			○

〈担当者からのメッセージ〉

評価は日常の学習の取組がどのくらいできているかを判断します。提出物は日頃からしっかりと準備しておけば全員ができることです。そのような誰もができてしっかりとできているかが評価の基本となりますので、日々の学習の取組をしっかりとしましょう。今やれることは今やる。決して後回しにしない気持ちをもって学習に取り組んでください。

【普通科】 3年次 【選択】科目「現代文読解」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期						
4	1 小説の読解 ○小説の構成 ・小説の構成要素を把握する ・科学的な見方を理解する ・異なる世界観を知る	6	○小説に親しむ ・小説を構成する三要素である、事件・人物・環境を把握する。	⑤ ④ ②	・小説の構成が理解できる。 ・小説の構成の知識を活用して、小説を読み味わうことができる。	漢字小テスト (毎時間)
5		8	・科学の知識や思想を応用した作品から、科学的なものの見方を理解する。 ・現代人の合理性と異なる世界観の存在を知り、視野を広げる。	③ ①	・小説の読解について、話し合いの基本的な方法を身につけることができる。 ・読後感想文等を通じて、適切な文章の書き方を身につけることができる。 ・題材に関心を持って意欲的に取り組むことができる。	↓
6		8				前期中間考查 ノート提出
7	○小説の心理描写 ・極限状況の人間心理を考える ・身体の描写による内面表現の方法を知る。 ・画一的な生き方の中で、内面にある心理状態を理解する	8	○心理を追う ・極限状況という環境に身を置いた人間の心理を考える。 ・身体を描写することで内面を表す方法を知る。	⑤ ④ ②	・小説の心理描写を理解できる。 ・小説の仕組みの知識を活用して、小説を読み味わうことができる。	↓
8		4	・画一的な生き方の中で、個々の違いが行動ではなく、内面にある心理状況にあることを理解する。	③ ①	・小説の読解について話し合う中で、話し合いの基本的な方法を定着させることができる。 ・読後感想文等を通じて、適切な文章の書き方を定着させることができる。 ・題材に関心を持って意欲的に取り組むことができる。	↓
9		8				前期末末考查 ノート提出
後期						
10	○小説の表現 ・象徴的表現を理解する ・心理描写による人物造形を理解する ・真実と事実の違いを理解する	10	○表現を味わう ・生と死の象徴的表現を理解する。 ・二律背反した心理描写による人物造形を理解する。 ・私小説における真実と事実の違いを理解する。	⑤ ④ ②	・小説の表現を理解できる。 ・小説の表現の知識を活用して、小説を読み味わうことができる。	↓
11		10		③ ①	・小説の読解について、話し合いの内容をまとめて発表する方法や、聞く態度を身につけることができる。 ・読後感想文等を通じて、考えの根拠を持って論理的に文章を書く方法を身につけることができる。 ・題材に関心を持って意欲的に取り組むことができる。	↓
12	2 随想の読解 ○随想とは何か ・小論や小説との違いを理解する ・余韻の大切さを知る。 ・作者と作中人物との差を理解する	6	○随想とは何か ・評論と小説の中間に位置する文章を理解する。 ・評論風の作品から、余韻の大切さを知る。	⑤ ④ ②	・様々な随想の特徴と、作者の意図を理解できる。 ・評論や小説との違いを理解して、随想を読み味わうことができる。	↓
1		2	・作者と作中人物との距離の差を理解し、読み味わう。	③ ①	・随想の読解について、話し合いの内容をまとめて発表する方法や、聞く態度を定着させることができる。 ・読後感想文等を通じて、考えの根拠を持って論理的に文章を書く方法を定着させることができる。 ・題材に関心を持って意欲的に取り組むことができる。	↓
2						後期中間考查
3		計 70				↓

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は話す・聞く能力、③は書く能力、④は読む能力、⑤は知識・理解を表しています。
 ※ 授業計画は進度により前後することがあります。